

日本のペニシリン開発の証

登録番号	第 00276 号		
登録年月日	令和元年9月10日	登録区分	第一種

名称 (型式等)	碧素アンプル
所在地	岐阜県各務原市 内藤記念くすり博物館
所有者 (管理者)	公益財団法人 日本感染症医薬品協会
製作者(社)	製造：森永食糧工業株式会社（現：森永製菓株式会社） 取扱：森永薬品株式会社（現：森永製菓株式会社）
製作年	1944年
初出年	1944年
選定理由	ペニシリンは1928年に英国で発見され、多くの感染症に効く奇跡の薬として知られている。第二次世界大戦中も使用され多くの命を救ったが、当時ペニシリンの実用化に成功したのは英米を除くと日本だけであった。ドイツのキーゼ報告を頼りに、医、理、工、薬、農学の研究者によるペニシリン研究委員会を結成し、独学で1年以内にペニシリンの大量生産を開始するという一大成果を成し遂げたとされる。本資料は、ペニシリン（碧素）の開発に成功し、戦時中に実際に製造した事実を伝える資料として重要である。
登録基準	一ーロ（国際的に見て日本の科学技術発展の独自性を示すもの）

公開・非公開	公開
写真	
その他参考となるべき事項	